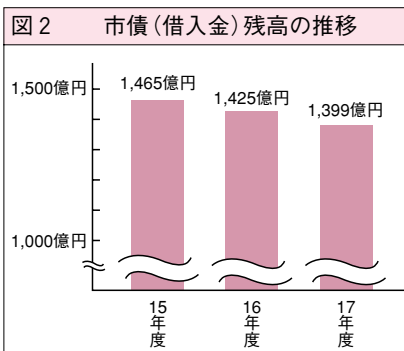




新しい体育館で体操する生徒（一中）

平成十七年度各会計決算が、監査委員の審査を経て、九月に開かれた市議会定例会で認定されました。その概要をお知らせします。一般会計の歳入歳出内訳は図1、各会計の歳入歳出額は表1のとおりです。なお、本ホームページにも詳しい資料を掲載しています。ご覧ください。お問い合わせは財政課 ☎ 890-6542へ。



一般会計決算額の歳入歳出総額は、歳入千四百四十億千三百二十八万円、歳出千四百十億六千七百七十七万円、歳入歳出差引額は二十九億四千五百五十一万円の黒字となりました。これから十八年度への繰越財源を差し引いた実質収

お知らせします昨年度の決算

“元気で楽しい前橋”実現のために

支額は二十七億五千六万円の黒字。このうち十八億円を財政調整基金へ積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、三億五千九百四十七万円で昨年度に引き続き黒字となりました。なお、市債（借入金）残高については、約二十六億円減の千三百九十九億円。この二年間で約六十六億円の縮減を行いました。（図2のとおり）今後も引き続き財政の健全化・行政のスリム化に努め、「元気で楽しい前橋」の実現に向け、積極的な市政運営に努めます。各会計の概要は次ページのとおりです。

一般会計

主な財政改革として、合併の効果を生かした各種事業の経費節減を進め、市営立体駐車場の指定管理者制度導入など効率的な予算執行に努めました。また、国の交付金制度の活用などの財源確保に努め、合併特例債を含めた市債発行額の総額抑制を図りました。

歳入

市税や所得譲与税、地方交付税などが増加した一方、諸収入では前年度の合併による引き継ぎ金、あるいは市債では地方税減税補てん債の借り換えの終了によって大幅に減少しました。なお、財政調整基金（貯金）の取り崩しは、約七億七千万円少なくなりまし

歳出

児童手当等支給事業などで民生費が増加。また、小学校の校舎新増改築事業などがあった教育費も大きく増加しました。一方で、公債費（借金の返済）は、減税補てん債の借り換えの終了によって大きく減少しました。また、消費税や斎場整備事業などによって増加しました。なお、十七年度の主な施策

図1 一般会計歳入歳出の内訳

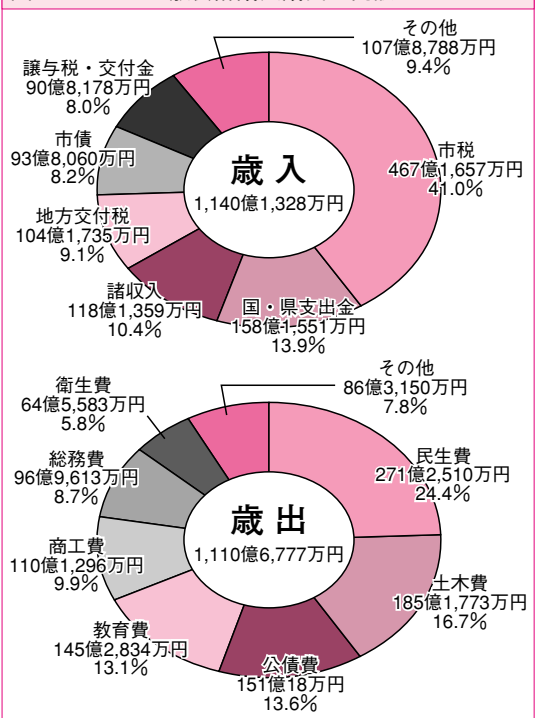


表2 昨年度に実施した一般会計の主な施策・事業

総務費	500万円
・次期総合計画基本構想策定	618万円
・防犯灯新設補助（充実）	1,857万円
・市民活動支援センター運営事業	3,297万円
・太陽光発電設備設置費補助事業	
民生費	1,768万円
・身体障害者等生活支援事業	46億2,047万円
・生活保護費支給事業	19億488万円
・福祉医療費支給事業	1億2,638万円
・老人ホーム等整備事業	5,864万円
・放課後児童対策充実事業	
衛生費	10億5,990万円
〈衛生関係〉	3億2,427万円
・さわやか健診・がん検診（充実）など	
・法定予防接種、高齢者インフルエンザなど	
〈清掃関係〉	6億9,689万円
・ゴミ収集運搬事業	7億9,055万円
・ゴミ焼却事業	1億2,014万円
・有価物集団回収事業	
〈その他〉	1億8,270万円
・斎場整備事業	
労働費	2億5,205万円
・前橋テルサ整備事業	6億4,928万円
・制度融資（勤労者生活・住宅資金など）	
農林水産業費	336万円
・新規就農者支援事業	254万円
・新園芸産地育成対策事業	2億7,670万円
・市単独農業土木（農道、農業用水路などの改修）	
商工費	752万円
・商店街空洞化対策事業	2,508万円
・中心市街地再生推進事業	1億4,255万円
・企業誘致等促進事業	96億8,522万円
・制度融資（小口資金、経営振興資金など）	
土木費	12億3,791万円
・道路新設改良事業（新前橋駅川曲線Ⅲ期など）	65億2,760万円
・区画整理事業（11地区）	1億6,334万円
・新市建設計画に基づく道路整備	2億5,536万円
・前橋公園整備事業	2,664万円
・市営住宅整備	
消防費	4,247万円
・新分署建設事業（東消防署）	6,442万円
・飲料水兼用耐震性貯水槽建設（南橋中）	
教育費	2,041万円
・適応指導教室事業（1カ所増）	11億6,163万円
・小学校整備（大胡小校舎、総社小プール改築など）	5億1,146万円
・中学校整備（一中体育館改築、七中校舎設計など）	3億7,952万円
・小中学校扇風機・エアコン設置工事	1億594万円
・元総社公民館移転新築事業	

については、表2のとおりです。

特別会計

●国民健康保険特別会計

加入者の皆さんの健康を保持するため、病気やけがなどした場合に適正な保険給付を行うとともに、人間ドックの補助などの保健事業を推進しました。

●老人保健特別会計

高齢社会に対応し、高齢者の健康の保持を図るため、老人医療費の適正な支出に努め

●競輪特別会計

開設記念競輪三山王冠争奪戦を開催するなど事業の活性化に取り組むとともに、グリーンドーム前橋の建設費の償還や維持管理について支援しました。また、これまでの経営改善の結果、三年ぶりに一般会計へ一億円を繰り出しました。

●農業集落排水事業特別会計

荒砥北部地区・馬場地区の管路工事を行うとともに、普及率の向上、施設の適正な維

●介護保険特別会計

要介護の高齢者が能力に依じた自立生活を営めるよう、サービス向上や事業の円滑な運営に努めました。

●簡易水道事業等特別会計

苗ヶ島町の湯之沢小水道について、豪雨被害による応急復旧と施設の適正な維持管理に努めました。

企業会計

水道事業では、第六次拡張事業、既存施設整備事業など

表1 平成17年度各会計決算

一般会計・特別会計		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,140億1,328万円	1,110億6,777万円
国民健康保険	270億748万円	266億8,499万円
老人保健	273億213万円	271億3,828万円
競輪	220億9,720万円	215億7,254万円
農業集落排水事業	10億5,253万円	10億5,156万円
介護保険	150億4,338万円	148億8,112万円
簡易水道事業等	1,700万円	1,576万円
小計	925億1,972万円	913億4,425万円
合計	2,065億3,300万円	2,024億1,202万円
企業会計		
会計名	歳入	歳出
水道事業	75億4,908万円	93億8,651万円
下水道事業	94億6,850万円	121億2,720万円
農業共済事業	6億2,840万円	5億9,532万円
合計	176億4,598万円	221億903万円

※金額は1万円未満を整理しています。
※水道事業・下水道事業・農業共済事業の歳出は現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。